

令和3年第1回企業団議会（第1回定例会）会議録

招 集 令和3年2月10日（水） 午前10時00分

開 会 令和3年2月10日（水） 午前10時00分

閉 会 令和3年2月10日（水） 午前10時40分

会議の区分 定例会

会議の場所 岡山県南部水道企業団 議場

出席議員

- | | |
|------|---------|
| 1 番 | 藤 原 哲 之 |
| 2 番 | 秋 田 安 幸 |
| 3 番 | 齋 藤 武次郎 |
| 4 番 | 時 尾 博 幸 |
| 5 番 | 藪 田 尊 典 |
| 6 番 | 氏 家 勉 |
| 7 番 | 大 月 博 光 |
| 8 番 | 小 泉 馨 |
| 9 番 | 高 原 良 一 |
| 10 番 | 細 川 健 一 |
| 11 番 | 伊 東 裕 紀 |
| 13 番 | 北 畠 克 彦 |
| 14 番 | 末 田 正 彦 |
| 15 番 | 仙 田 貴 孝 |

欠席議員

- | | |
|------|---------|
| 12 番 | 片 山 貴 光 |
|------|---------|

説明のため出席した者

企業長 片 山 寛 一

事務局長 小 田 博 則

総務課長 近 藤 孝 之

施設課長 山 下 公 司

議会事務のため出席した者

議会書記

総務課課長補佐 三 宅 智 之

総務課 主 幹 小 池 正 芳

議事日程

日程 1. 議席の決定について

日程 2. 会議録署名議員の指名について

日程 3. 会期の決定について

日程 4. 選挙第 1 号 副議長の選挙について

日程 5. 選挙第 2 号 議長の選挙について

日程 6. 議案第 1 号 令和 3 年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算について

日程 7. 常任委員会委員の選任について

会議録署名議員

1 番 藤 原 哲 之

15 番 仙 田 貴 孝

令和3年第1回企業団議会（第1回定例会）会議録

令和3年2月10日 午前10時00分開会

議長（大月博光君）

皆さま、おはようございます。

本日、令和3年第1回定例会を招集しましたところ、議員の皆さまには、公私とも何かとご多忙の折り、ご出席いただき誠にありがとうございます。

会議に先立ちまして、ご報告いたします。

倉敷市選出の議員さんが、本年1月31日で任期満了となり、去る2月4日の臨時市議会で当企業団議会議員に選出されております。

それでは、新しく選出された方もおられますので、ここで改めて自己紹介をします。

（大月議長 自己紹介）

議長（大月博光君）

それでは、議員さんの自己紹介を現在の仮議席の順にお願いいたします。

（議員 順次自己紹介）

議長（大月博光君）

ありがとうございました。

続いて、企業団職員が自己紹介をします。

（片山企業長ほか 順次自己紹介）

議長（大月博光君）

以上で紹介を終わります。

ただ今の出席議員は、14名でございます。

定数に達しており議会は成立いたしますので、ただ今から、令和3年岡山県南部水道企業団第1回定例会を開会いたします。

日程1. 議席の決定について

議長（大月博光君）

それでは、お手元の日程表により会議を進めたいと思います。

日程第1、議席の決定については、会議規則第2条により、議員の席次は毎年最初の議会で抽選をもってこれを定めると規定されておりますが、ここで抽選をいたしましょうか。

或いは、現在の仮議席を正式の議席として取り扱いませんか。

お諮りいたします。

（「現在のままで」と呼ぶ者あり）

議長（大月博光君）

それでは、議席の決定については、現在の仮議席を正式な議席とさせていただきますので、よろしく願いいたします。

日程2. 会議録署名議員の指名について

議長（大月博光君）

次に、日程第2、会議録署名議員の指名については、慣例によりまして私より指名させていただきますので、よろしく願いいたします。

1番 藤原哲之議員、15番 仙田貴孝議員、にお願いいたします。

日程3. 会期の決定について

議長（大月博光君）

次に、日程第3、会期の決定については、会議規則第4条により本日1日限りとしたし

ます。

ここで暫時休憩いたします。

午前10時5分休憩

(休憩)

午前10時12分再開

日程4. 選挙第1号 副議長の選挙について

議長（大月博光君）

それでは休憩を閉じて会議を再開いたします。

日程第4、選挙第1号、副議長の選挙についてを上程いたします。

選挙の方法ですが、従来より慣例になっておりますのは、申し合わせによる該当地区から副議長候補を推薦していただき、その方を副議長にということで行っておりますが、その方法でいかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大月博光君）

それでは、そのようにいたします。

申し合わせによる該当地区は、倉敷地区となっておりますので、副議長候補を推薦してください。

2番（秋田安幸君）

藪田議員を推薦します。

議長（大月博光君）

ただ今、藪田議員が副議長に推薦されましたが、副議長に決定することでご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大月博光君）

では、ご異議ないようですので、副議長は藪田議員に決定いたしました。
それでは藪田議員、席の移動をお願いいたします。

（新副議長 副議長席に移動）

副議長（藪田尊典君）

この度、副議長に就任させていただきました藪田尊典でございます。
どうぞ、皆さまよろしくお申し上げます。

日程 5．選挙第 2 号 議長の選挙について

副議長（藪田尊典君）

それでは、引き続いて会議を進めたいと思います。
先程の休憩中に大月議長から辞職願が提出されております。
大月議長、辞職にあたりましてご挨拶がございましたらお願いいたします。

議長（大月博光君）

はい。

短い期間ではありましたが、本当に様々なご指導をいただきながら、なんとかやってこられました。幸いと言ったら語弊がございますが、このパンデミックのなかで、大きな災害がなく滞りなく終えられたこと、まずそれが第一の、本当の責務を果たせたかなという思いを強くしております。

また、議員といたしましても、しっかり企業団を支えられるよう努力をしていきたいと思っております。本当に短い期間でありましたけれどもありがとうございました。

(大月前議長 議席に移動)

副議長 (藪田尊典君)

それでは、日程第5、選挙第2号、議長の選挙についてを上程いたします。

選挙の方法ですが、先程の副議長選挙と同じく申し合わせによる該当地区から議長候補を推薦していただき、その方を議長にどのような方法でいかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

副議長 (藪田尊典君)

それでは、そのようにいたします。

申し合わせによる該当地区は、児島地区となっておりますので、議長候補を推薦してください。

14番 (末田正彦君)

北畠議員をお願いします。

副議長 (藪田尊典君)

ただ今、北畠議員が議長に推薦されましたが、議長に決定することでご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

副議長 (藪田尊典君)

では、ご異議ないようですので、議長は北畠議員に決定いたしました。

それでは北畠議員、席の移動をお願いいたします。

(新議長 議長席に移動)

副議長 (藪田尊典君)

それでは、議長就任のご挨拶をお願いいたします。

議長 (北畠克彦君)

先程、議長に選任されました北畠克彦です。まだまだ、今年度もコロナ禍のなかということで厳しい状況が続いておりますけれども、皆さん方としっかりと議論をしながらすすめていきたいと思っておりますので、どうかよろしくをお願いいたします。

日程 6. 議案第 1 号 令和 3 年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算について

議長 (北畠克彦君)

次に、日程第 6、議案第 1 号、令和 3 年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算についてを上程いたします。

企業長の説明をお願いいたします。

企業長 (片山寛一君)

ただ今、ご上程いただきました議案第 1 号、令和 3 年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算につきまして、ご説明を申し上げます。

失礼ですが、座ってご説明させていただきます。

それでは、予算書の 1 頁をお開きください。

第 1 条の総則は、省略させていただきます。

まず、第 2 条、業務の予定量でございますが、送水量につきましては、令和 2 年度の実績と近年の送水量の推移、また、各構成市からの需要見込みを総合的に勘案いたしまして、年間総送水量を前年度当初予算より 7 4 万 m³減量の 2, 5 5 4 万 5 千 m³、1 日平均で 6 万 9, 9 8 6 m³を見込んでおります。

主要な建設改良事業につきましては、整備事業費といたしまして、管理本館築造工事な

ど、9億6,049万2千円を予定しております。

また、設備改良事業費といたしまして、第4系急速ろ過池整備工事など1億1,654万8千円を予定し、建設改良事業総額といたしましては、10億7,704万円を予定しております。

続きまして第3条、収益的収入及び支出でございますが、水道事業収益として15億8,428万5千円、水道事業費用として13億6,100万8千円を計上し、税込みで2億2,327万7千円の黒字を予定しております。

第4条、資本的収入及び支出でございますが、資本的収入として5億6,220万円、資本的支出として13億4,448万2千円を計上し、不足額7億8,228万2千円につきましては、損益勘定留保資金、積立金等で補てんする予定でございます。

次に、2頁をご覧ください。

第5条、企業債でございますが、施設整備等の資金に充てるための企業債の限度額等を定めております。

第6条、一時借入金でございますが、一時借入金の限度額を2,000万円に定めております。

第7条、予定支出の各項の経費の金額の流用でございますが、予定支出において各項間で流用できる場合として、営業費用と営業外費用の流用を定めております。

第8条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費でございますが、議会の議決を頂かなければ流用できない経費として、職員給与費と交際費を定めております。

第9条、たな卸資産購入限度額でございますが、たな卸資産である材料を購入できる限度額について、令和3年度における使用予定量をもとに定めております。

以上、簡単にご説明いたしました。何とぞご審議の上、ご議決賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

さて、当企業団におきましては、今後の施設更新の長期的な基本方針である第二次整備計画、また、この計画をもとに策定した令和10年度までの経営戦略に沿って、浄水施設や基幹管路などの更新並びに耐震化に着手しているところでございます。

今後も水需要の減少が懸念される一方で、引き続き計画的な大規模更新・耐震化等を控えており、事業経営はより一層厳しくなるものと考えております。

事業運営に当たりましては、経費の節減はもとより、各事業の内容を一層厳しく精査し、

より効率的な経営を行ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

詳細につきましては、事務局長から引き続きご説明を申し上げます。

以上でございます。

議長（北嶋克彦君）

続いて、詳細説明をお願いいたします。

事務局長（小田博則君）

事務局長の小田でございます。

それでは、詳細説明に入らせていただきます。

失礼ですが、座ってご説明をさせていただきます。

主に予算書に沿ってご説明を申し上げますが、机の上にお配りしております令和3年度当初予算案の概要、左肩をホチキスで留めたものでございます、こちらの資料にも触れながら、ご説明を申し上げます。

なお、企業長からの説明と、一部重複するところがございますが、よろしく願いいたします。

予算書の1頁から2頁、資料では1頁になりますが、先程、企業長からご説明した内容でございますので、省略をさせていただきます。

予算書の3頁から4頁と資料の2頁をご覧ください。

資料の収益的収入支出比較表でございますが、予算書に記載しております予算実施計画の収益的収入及び支出のそれぞれの主な内訳と前年度比較をお示ししておりますので、併せてご覧ください。

まず、予算書の上段、収入でございますが、水道事業収益15億8,428万5千円のうち、営業収益は15億7,266万9千円でございます。営業収益のうち、送水収益は前年度より4,558万4千円減額の15億7,264万7千円でございます。その他営業収益は2万2千円で、再任用職員等の雇用保険料でございます。営業外収益は1,161万6千円で、主なものは当企業団が所有しております水源涵養林の間伐材売却代金等、雑収益の856万4千円でございます。

次に、予算書の下段、支出でございますが、水道事業費用13億6,100万8千円のうち、営業費用は12億9,284万7千円でございます。営業費用のうち、原水及び浄水費は、3億160万1千円で、前年度より985万3千円の減額となっております。これは、浄水施設の維持、整備等に係る修繕費の減少が主な要因でございます。次に、送水費は、4億3,402万2千円で、前年度より811万9千円の増額となっております。これは、職員の採用による人件費の増加、また、送水施設の維持、補修等に係る修繕費の増加が主な要因でございます。次に、議会及び監査費は、前年度より19万9千円減額の1,777万円でございます。次に、総係費は、1億9,378万9千円で、前年度より2,746万8千円の増額となっております。これは、1号送水本管廃止に伴う構成団体への負担金の増加が主な要因でございます。次に、減価償却費は、3億4,079万2千円で、前年度より6,841万7千円の減額となっております。次に、資産減耗費は、487万3千円で、前年度より430万2千円の減額となっております。続きまして、営業外費用でございますが、6,706万1千円で、前年度より3,837万4千円の減額となっております。これは、企業債の支払利息の減少に加え、消費税及び地方消費税の納付予定額が減少となるためでございます。予備費につきましては、前年度と同額の110万円でございます。

ここで、資料の4頁をお願いします。

令和3年度主要事業でございますが、3条予算関係の主要事業を記載したものでございます。工事につきましては、1番の広江2号増圧ポンプ及び電動機整備工事、2番の水質計器整備工事など12件、委託につきましては、1番の浄水・送水施設運転管理業務委託、2番の中央監視設備点検業務委託など7件で、3条予算関係の主要事業19件の総額は、2億2,635万円となる見込みでございます。

収益的収入及び支出につきましては、以上でございます。

次に、予算書の5頁から6頁と資料の3頁をご覧ください。

資料の中ほどから下、資本的収入支出比較表でございますが、先程と同じく予算書に記載しております予算実施計画の資本的収入及び支出のそれぞれの主な内訳と前年度比較をお示ししておりますので、併せてご覧ください。

予算書の上段、収入でございますが、企業債の借入を予定しており、予定額は5億6,220万円でございます。この企業債につきましては、管理本館築造工事等の財源に充当

する予定でございます。

次に、予算書の下段、支出でございますが、建設改良費は2億5,231万4千円増額の10億7,704万円で、内訳としましては、整備事業費が1億9,350万円増額の9億6,049万2千円、設備改良費が5,881万4千円増額の1億1,654万8千円でございます。次に、固定資産購入費は、550万1千円で、2,450万8千円の減額となっております。次に、企業債償還金は企業債の元金償還でございますが、令和3年度は、2億6,194万1千円の見込みでございます。

ここで資料の5頁をお願いします。

先程と同じく令和3年度主要事業でございますが、こちらは4条予算関係の主要事業を記載したものでございます。工事につきましては、1番の片岡から迫川間の3号送水本管移設工事、2番の第1系浄水池築造工事など10件、委託につきましては、1番の植松から片岡間の3号送水本管移設工事設計業務委託、2番の正面山調整池築造工事設計業務委託など3件で、4条予算関係の主要事業13件の総額は、9億5,839万1千円となる見込みでございます。

以上の結果、予算書にありますとおり、資本的収入の合計は5億6,220万円、資本的支出の合計は13億4,448万2千円で、7億8,228万2千円が資本的収支の不足額となります。この不足額の補てんにつきましては、資料の6頁をご覧ください。資料の中ほど補てん財源の補てん額にありますように、損益勘定留保資金3億4,566万5千円、消費税等資本的収支調整額9,358万2千円、積立金の取り崩し3億4,303万5千円で充当する予定でございます。

次に、予算書の7頁をご覧ください。

予定キャッシュ・フロー計算書でございますが、下から3行目にありますように、令和3年度は1億8,061万4千円の資金減少となり、資金期末残高は39億9,102万2千円となる見込みでございます。

次に、予算書の8頁から13頁の給与費明細書でございますが、こちらにつきましては説明を省略させていただきますので、後程ご覧いただければと思います。

次に、予算書の14頁から15頁をご覧ください。

継続費に関する調書でございますが、6件の継続事業について、年割額や企業債の充当予定等を記載しております。

次に、予算書の16頁から17頁をご覧ください。

債務負担行為に関する調書でございますが、2件の業務委託について、限度額等を記載しております。

次に予算書の18頁をご覧ください。

予定損益計算書でございますが、下から4行目にありますように、当年度純利益を1億4,959万5千円と見込んでおり、前年度繰越利益剰余金5億1,336万3千円、その他未処分利益剰余金変動額3億4,303万5千円を合わせまして、当年度未処分利益剰余金は10億599万3千円となる見込みでございます。ただし、この当年度未処分利益剰余金には、会計処理上発生する資金の裏付けのない金額も含まれており、実質的な当年度未処分利益剰余金は、3億6,767万円となる見込みでございます。

予算書の19頁から21頁の予定貸借対照表につきましては、説明を省略させていただきますが、資料の7頁に前年度との比較表がありますので後程ご覧いただければと思います。

以上、簡単ではございますが、私からのご説明を終わらせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

議長（北嶋克彦君）

ただ今、説明がありましたが、質疑のある方は、お願いいたします。

14番（末田正彦君）

コロナと有収水量の関係について、影響があるのかどうか、教えてください。

企業長（片山寛一君）

コロナとの関係が水量等であるのかということですが、実は、12月議会の時のご挨拶で申し上げましたけれども、11月までは予算の計画水量よりも約25万 m^3 ほどマイナスでございました。したがって、このままの状態で推移すると、2,000万円強の収入減になることを当時、報告させていただきました。ですから、コロナの影響は、やはりあるのではないかと考えてはいますが、ただ、現状としてみますと、12月、1月と少し水量がでましたので、若干持ち直しはしているのですが、現実的に4月から11月までは、1

番多い時期の7月、8月に水量が伸びないという状況で、予算が足りないのではないかと考えておりました。今、なんとか持ち直して若干上回った状況ではありますけれども、来年度も若干そういうものがあるのではないかなと考えております。

議長（北嶋克彦君）

他に質疑のある方は、ございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北嶋克彦君）

それでは、この議案について討論のある方は、ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（北嶋克彦君）

討論を終わり、採決にはいります。

本案は、挙手により採決いたします。

議案第1号、令和3年度岡山県南部水道企業団水道事業会計予算については、原案のとおり可決することに賛成の方は、挙手をお願いいたします。

（賛成者挙手）

議長（北嶋克彦君）

挙手多数により、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

日程7. 常任委員会委員の選任について

議長（北嶋克彦君）

次に、日程第7、常任委員会委員の選任についてを上程いたします。

この選任については、先程の休憩中にご協議していただいておりますので、総務、建設

各委員会の正副委員長及び各委員について事務局から発表させますが、よろしいでしょうか。

(「よろしい」と呼ぶ者あり)

議長（北嶋克彦君）

それでは、事務局から発表してください。

議会事務局（三宅智之君）

総務委員会でございますが、委員長が時尾博幸議員、副委員長が藤原哲之議員、委員が齋藤武次郎議員、高原良一議員、細川健一議員、片山貴光議員、北嶋克彦議員、続きまして建設委員会でございますが、委員長が氏家 勉議員、副委員長が伊東裕紀議員、委員が秋田安幸議員、藪田尊典議員、大月博光議員、小泉 馨議員、末田正彦議員、仙田貴孝議員、以上となりますので、よろしく願いいたします。

議長（北嶋克彦君）

それでは、常任委員会委員の選任については、事務局の発表のとおり決定いたします。

次に、一般質問ですが、発言通告がありませんでしたので省略いたします。

以上で、本日予定の案件はすべて終了いたしました。

以上をもちまして、令和3年第1回定例会を閉会といたします。

慎重なるご審議ありがとうございました。

令和3年2月10日（水） 午前10時40分閉会